

格差是正をめざす医療政策・社会政策のための基礎的研究

大 森 正 博（お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科）

「格差」に関わる問題を考えるとき、人間の経済生活、社会生活の大前提になるのが、健康の確保であり、医療制度に関する検討が不可欠である。

また、「格差」を考えるときに、大きな焦点となるのが、経済的格差である。経済的格差を考えるときに、労働の状況を考えることは重要である。

今年度は、医療については、以下の3つの研究テーマの元に研究を進めた。

- (1) 医療制度改革を中心とする社会保障制度改革の社会的格差への影響に関する分析—
マイクロ・シミュレーション分析を中心に—
- (2) 医療費の決定要因に関する分析
- (3) 非正規労働の増加を中心とする労働市場の構造変化と社会的格差への影響の分析

(1) については、様々な医療制度改革の選択肢がある中で、それぞれの施策がどのような結果をもたらすかを予測するのにシミュレーション分析、中でもマイクロ・シミュレーション分析は有用である。今年度は、マイクロ・シミュレーション分析に関する文献を研究し、実際の分析の着手のための準備を行った。今後、マイクロ・シミュレーションを中心としたシミュレーション分析に本格的に着手する予定である。

(2) については、医療制度を考えるときに、大きな課題となっているのが医療費の増加の問題である。医療費の増加の問題を考えるときに、その要因について、分析を行う必要があるが、特に国際比較データを使った先行研究が比較的豊富にある。本年度はそうした先行研究の文献研究を行うと同時に、医療費に影響を与える医療制度の質的要素も鑑みて、研究を行った。具体的には、医療の効率性に影響を与える、医療における分業のあり方である。診療所と病院の連携、医療と介護の連携をテーマにした。今後は、質的な研究とともに国際比較データ等を用い、データ分析も行う予定である。

(3) については、今年度は、非正規労働の、労働の幸福感についての分析を行った。正規労働と比較した、非正規労働の所得、職位等の経済的待遇の悪さについてはよく言われていることであるが、非正規労働に従事している人々の労働の幸福感に関する研究はきわめて少ない。本年度は、正規労働、非正規労働の満足感に影響を与える要因について、既存のアンケート調査を2次利用して分析を行った。